

地域農業の将来を考える

アンケート調査から



農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などにより一層厳しさを増しています。町では、そのような状況を踏まえて、「人と農地」に係る現状を把握し、計画策定や集落・地域での話し合いのための基礎資料とするため、町内全農家を対象に「地域農業の将来を考えるアンケート」を実施しました。今回は、その集計結果を紹介し、将来の地域農業のあり方などについて考えていきたいと思ひます。

アンケート集計結果

調査の目的

本町における「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の作成、及び見直しに向けた集落・地域での話し合いのための基礎資料とするため。

調査実施期間

平成24年11月19日～12月7日

調査対象

町内全農家114戸（平成24年11月現在）

調査票の回収率

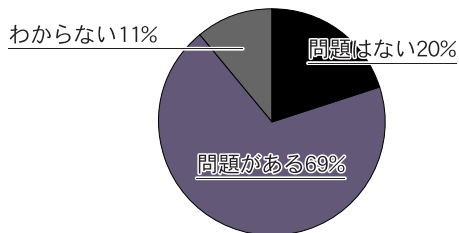
56.14%（回収64戸／配布114戸）

調査の内容・結果

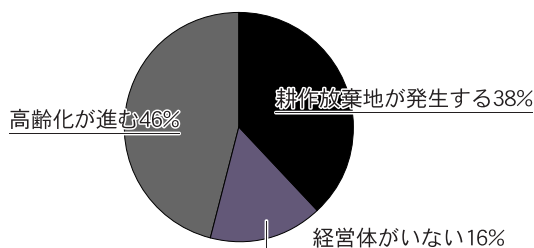
次のとおり

設問1. あなたの暮らす地域の農業は、10年後にどのようになっていると思ひますか。

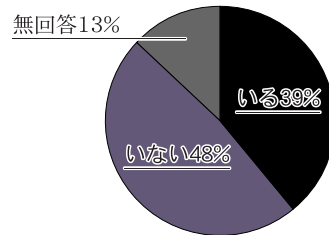
① 地域農業は10年後どうなっていますか。



② 10年後生じている問題



設問2. あなたの暮らす地域では、現在地域の中心となる経営体がありますか。



設問3. 今後あなたの地域が問題なく農業を行っていくためには、何が必要だと思ひますか。

① 地域農業を持続可能とするためにどうしたらよいか

